

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております

2816号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

コラム

短くなる 速くなる

九州大学大学院法学研究院教授 **木佐茂男**



大滝祭 (京都府宇治田原町)

まるで自分の人生の残り時間を表現しているかのようなタイトルであるが、話は、チト違う。

福岡から島根県にある実家への帰省時に、列車や飛行機を利用しないときは自動車使用で所要時間と高速道路料金のバランスを考えながらルートを選んできた。九州内は高速道路利用が不可欠なので、中国地方に入ってから道路の選択肢がここでの論点である。この10年近く、当初は可能な限り高速道路を使った。一般道と高速道路利用では、前者は所要時間が3時間程度多く、疲労度も大きい。しかし、実験的に

くつかのルートの一般国道を走っていると、通過のたびに、走行距離が短くなり、所要時間も短縮化され、高速道路利用と変わらなくなってきた。

理由は比較的簡単である。実家のある市を除いて、途中にある6市のすべてで市内中心部を通ることがなくなつた。合併前の市であれ、町村であれ、どの地域も迂回通過地となり、かつての中心市街地はいつその衰退の道を歩んでいる。

だが、沿道には、バイパス建設促進や高速道全通を求める看板が並ぶ。誰のために？ 高速道路の新規開通で、

一気に沿線町村全部が衰退を迎えるという危惧もある。島に橋がかかったため補償を求めたフェリーや小規模海運の会社が思い起こされる。高速道路新設の影響は一事業者の問題にとどまらない。沿線自治体が一気に衰退の運命を迎える悲惨さが目に浮かぶ。

「高速道路建設推進協議会」の総決起集会などに出る人は誰か、と地元の人に聞くと、土木建設業者が中心です、という答え。なるほど、理解できる。インターチェンジやジャンクションの設置場所選定も私には不可解なことが多い。

郷里では信じがたい農道や無謀な空き地などがいくらかもある。これはボカミスの無計画ではなく、利害関係者の「参加」と「計算」に基づき、誰かの利得になる「計画」による。

この国では、「短」と「速」を生活の質の向上に結びつける「計画」はありえないのだろうか。私の知る限り、ヨーロッパでは、高速道路ができて古くも古代や中世以来の伝統ある街並みはきちんと生きている。この違いを埋める仕組み研究がもっと必要だろう。

もくじ

政 策	交付税は1.5%減の17.2兆円—スタートライン、厳しく— 2013年度総務省予算概算要求重点施策……………(2)
フォーラム	ナンバーワンよりオンリーワン ～みんなで作る「むら」づくり～山形県鮭川村……………(5)
情 報	町村Navi ……………(8)
随 想	わが町を次の世代に引き継ぐために…熊本県玉東町長 前田移津行…(11)

写真キャプション

京都府綴喜郡宇治田原町の湯屋谷地域で行われる伝統行事「大滝祭」。

お神酒を飲ませたウナギを滝壺に放ち豊作を祈願する神事です。